

インフラDXコンペを開催

～ 15 技術が参加 ～

建設技術展 2022近畿

ええもん使って、ええもん創る!



- 「建設技術展 2022 近畿」において、インフラ分野のDX推進に活用できる技術を発掘し技術開発を促進することを目的に、インフラDXコンペ発表会を行い15技術のプレゼンテーションが行われました。
- 会場は立ち見が出るなど、約180人の参加があり、立命館大学の建山先生、大阪工業大学の井上学長を含む6名の審査による結果、優秀技術として4技術が選定されました。

インフラDXコンペ発表会

日時：令和4年11月9日(水)

10:30～13:00

場所：インテックス大阪 6号館 Cゾーン 小ホール

内容：・インフラDXコンペ 15技術

発表技術、優秀技術は一覧表のとおり

・特別講演

「インフラ分野のDXについて」

本省 総合政策局 公共事業企画調整課

味田 課長補佐



奥田企画部長 挨拶

- インフラDXコンペは、初めての試みであり、優秀技術には試行フィールドの提供を予定していることがミソである。

立命大 建山教授 講評

- 各審査員の1位評価の技術は一致せず、それぞれ評価が割れたが、現場での試行の可能性を考慮し4つの優秀技術を選定した。
- 調査、施工、維持管理など多岐にわたる技術の発表は面白く、90分の発表時間が短く感じた。
- インフラDXの取組は企業も頑張っているが、発注者もその促進のために努力が必要である。



本省 味田課長補佐
特別講演



コンペ発表会の様子



会場の様子